

工業振興委員会 倶知安町との町内インフラ整備に係る意見交換会

日時	令和7年4月23日（水） 10時00分から11時25分まで
場所	中小企業センター ホール
出席者	別紙の通り
概要	別紙6項目について、意見交換をした。
内容	<p>～意見交換会の前に北海道電力より別紙資料に基づき泊発電所に関する説明が行われた～</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開会（事務局）2. 挨拶（瀬尾委員長・文字町長）3. 意見交換 <p>まずはじめに別紙6項目について担当課より資料に基づき説明がなされた ～建設課遠藤課長より説明～</p> <p>①抜本的な住宅施策</p> <ul style="list-style-type: none">・令和7年度については特に若年世帯や単身世帯における住まいのニーズが高まっていると認識しており、それに合わせて現在南6条団地の建て替えを進めている。その中では単身者専用の住戸の割合を多く、町営住宅に関しては整備をする予定・今後町営住宅だけでは当然充足するものではないため、単身や若年世帯の住宅の確保に向け町だけではなく民間事業者との協力、連携を視野に入れ取り組んでいきたいと考えている <p>③西3丁目通りと道道343号との交差点改良</p> <ul style="list-style-type: none">・昨年度は通学路の安全を目的に歩道の整備が完了している。・現在Yの字になっており、それを直角のT字にすることが基本であり用地買収や建物の補償が必要になる。今後検討をするところである。 <p>④町道の道路改良</p> <p>令和7年度に予定している建設課の工事について</p> <ul style="list-style-type: none">・東5丁目通1号道路改良工事については元々要望もあり南6条団地の建て替えも始まるため新規事業として挙げさせていただいている。・西5丁目通道路改良工事については優先順位を高く設定し新規で取り扱うこととしている。・その他継続工事や旭ヶ丘公園周辺の工事（建物やトイレ等）となっている。 <p>⑥西10号琴平線の道路改良整備</p> <ul style="list-style-type: none">・今のところは都市計画道路として存在しているが、現在立地適正化計画の策定と合わせ都市計画道路の見直しを行っている最中である。・今後、都市計画道路から外れることとなれば道路事業として整備することとなる。・高規格道路の開業や、新幹線駅開業を見据え事業検討を進めていきたいと考えている。 <p>～まちづくり新幹線課西口主幹より説明～</p> <p>②旭ヶ丘公園（クトサン川河川敷を含む）再整備</p> <ul style="list-style-type: none">・8月頃から旭ヶ丘公園通りが道道の迂回路となる想定をしており、その中で旭ヶ丘公園の利用者の道路横断を少なくするべく、旧プール場のあたりにトイレの新設を予定している。・今年度の6月から設計業務を行い、12月頃に工事の発注。来年の7月頃にトイレ工事完了となる形で考えている。

- ・ 工事期間中のトイレを確保するため仮設トイレやプレハブタイプのトイレを設置しようと考えている。
 - ・ 新幹線の開業は伸びたがクトサンパークやクトサン川も含め旭ヶ丘再整備の中の位置づけとなっている。
 - ・ クトサン川の河川敷については商工会議所にも参入していただきながら利用の仕方を検討していくこととなっている。
 - ・ いずれは河川敷の管理者である北海道が整備主体となり協力という形で住民含め利用の仕方を検討したうえで実現していければと考えている。
 - ・ そのスケジュールについて令和7、8年度にかけて協議会・委員会を立ち上げ令和9年、10年度にかけて町内の方々を含み計画の策定、早くて令和11年度以降に整備を進めていければと思っている。
 - ・ 新幹線の開業を待たずに進められるものであれば進めていきたいと考えている。
- ⑤ 道道58号線跨線橋解体に伴う臨時踏切の設置
- ・ 当初は2030年度開業日と予定していたため今年度から令和11年度を跨線橋の撤去期間と考え約5年程度道道の迂回路を利用するという想定であった。
 - ・ 現在は2038年度末以降という状況になるので少なくとも14年間は迂回路を利用し続けるということになる。
 - ・ 今後、JRを含めた関係機関と仮踏切の設置について協議させていただこうと考えている。

～以下、意見交換～

- ・ 抜本的な住宅施策について、難しいのはわかっているが、若年者が建物を建てる場所がなく、土地も高い。さらには建築資材も高騰しており住宅を持つには厳しい状況。
 - ・ 古い建物を購入するという手もあるが、現状外国人は資金があるため買われてしまう。
 - ・ 今年度は予算の関係もあり難しいとは思いますが現在の住宅補助に代わる思い切った施策を考えられないか。倶知安で仕事をしている若年者でも近隣町村で建てるケースが増えている。
 - ・ 旭ヶ丘スキー場の駐車場が非常に混雑しており1台空いたら2.3台がそのスペースを取り合う状況となっている。
 - ・ 駐車場を広げるのは難しいとは思いますが、プールの駐車場を活用する等なにか対策を考えていただけないだろうか。
-
- ・ 住宅施策について解決につながるのであれば来年度に向け考えていかなければいけないと考えている。こういった意見等を聞きながら反映させていきたい。
-
- ・ 住宅の関係で何年も悩み続けているが、実際に倶知安の中で民間の宅地開発はどんどん進んでいる。
 - ・ しかし、地価の予定価格がすごく高く、元々倶知安にいる若年者の手が届く物件があまりにも無いため我々が抱えている住宅課題の解決には結びつかないという風に捉えている。
 - ・ 他の町村が行っている施策では倶知安町の抜本的な解決にはならないと思うので、新しい倶知安独自のアイデアを打ち出さなければ難しいと思っている。
 - ・ 行政だけではできないものなので商工会議所を中心に知恵を合わせ取り組んでいきたいと思っている。
-
- ・ スキー場の駐車場について、近年利用客が増えており駐車場が足りていない現状がある。
 - ・ 基本的には冬季はプール側の駐車場を閉鎖しており、駐車場からスキー場へ向かう際に道路を横断しないような形で確保したいと考えている。
 - ・ 圧雪等で駐車場を広げたり、お寺の下の敷地を借り駐車台数の確保に務めていきたいと考えている。

内 容

- ・住宅問題や学校教育に関わってくる部分だが、最近岩内町や共和町では小中一貫校としまとめた形で建築も進んでいる。倶知安町も将来的には統廃合し、既存の学校の敷地を分譲することなどで活用するなどの考え方を議論していった方が良いと思う。
- ・町長に就任した際に小学校の統廃合について実施計画を立てる寸前のところまで進んだが、新幹線や公共事業が山積みであり、一度ストップした。
- ・人口の増加幅や少子化がどれだけ進むかの見通しが立たなかった部分もあり、時間を置いた中で見据えるタイミングではないと判断した。
- ・しかし、新幹線の開業が10数年先となり、少子化も当時の推計よりも進んでおりそういった現状を踏まえると統廃合を視野に入れ進めていかなければならないと思っている。
- ・統廃合となればかなりの面積の敷地ができ、跡地を利用する話も出てくるので、具体的に模索していく時期になってきたと感じている。
- ・今までは新幹線開業に向け改良工事や駅舎の建設などに多くの労力と予算がかかると想定した上で全体的な工事などを組み立てていったと思うが、開業が伸び1世代後の話になっているので、統廃合や福祉センターの改装など優先順位は今後かなり変わっていくのか。
- ・文化福祉センターは現在長寿命化に向け積極的に着手している。
- ・エレベーターやエアコンの設置、LED化も含め今の建物をいかにして長寿命化で直していくのかという方向で動いている。
- ・優先順位として新幹線の開業が10何年も先になったので、変わらざるを得ない状況ではあると思う。
- ・福祉センターについてせっきく絵本館やプールができるので外壁についてもある程度視野に入れておいた方が良いと思う。
- ・琴平の道路の凹凸が気になる。利用者も多いと思うので何とか予算をつけ整備していただきたい。
- ・若年世帯が家を建てたくても建てられないのであれば、給食センターの跡地など活用できる町有地を分譲するのも一つの手ではないかと思っている。
- ・琴平の道路については道路改良が将来的に必要であるとは認識しているが、毎年の補修は現状JRTTに直接行っていただいているという現状。将来的な抜本的な改良に関しては補助事業を使いながらおこなっていきたいと見据えている。
- ・町有地として使える土地がなかなか無い状況。畑を転用した土地に関しても坪20万と高額になっている。
- ・少しでも町有地を若年者向け安く売ること考え引き続き町有地を探し、また、ソフト面での対応も考えていかなければならないと感じている。
- ・南6条東4丁目側の方に計画があると聞いているが、宅地造成という形なのか。
- ・事前協議等で受けている説明の中では戸建て14マスと広めに切ったアパート用の土地10マスの計画がされている。
- ・新幹線開業よりも高規格道路の方が早い時期に開通するかと思うが、インターチェンジの出入口などについて聞かせていただきたい。
- ・今シーズンも雪で潰れる住宅が沢山あり危険な建物は目視で分かる部分もある。町で除雪のパトロール等を行っていると思うが注意喚起等を行えないものか。
- ・後処理が大変であったり、周辺に危害が及ぶ可能性もあるためお願いしたい。

内 容

- ・ 倶知安インターチェンジの位置は具体的な部分は決まっていないが、おおまかに言うと農高の奥側に接続するイメージ。範囲としてはその辺がインターチェンジの場所と伺っている。
- ・ 12月に雪が多く、戸建てや倉庫が何件か倒壊しているのを確認している。
- ・ 建設課で除雪のパトロールや、住民環境課や職員全体で通勤時危険家屋についての情報共有している。
- ・ まちづくり新幹線課では空き家を集中的に探しピックアップをしているが、町だけでは気づかない部分もあるので、情報があれば提供していただきたい。
- ・ 職員全体で気づいたものについては全て生活安全住民環境課とすぐやる係に情報を入れており、特に近隣の建物や通行人に危険な建物については所有者を探し、注意指導をおこない対応している。
- ・ 住民からの指摘があればすぐ対応できるようにしている。
- ・ 学校給食センターの跡地の利用についてなにか考え方はあるのか。
- ・ 南児童館の裏に職員住宅が1つあり、その周りに2棟くらい建てられるほどの町有地があると思う。大きい団地を建てるのではなく細かい土地を子育て世帯に分譲するような政策を考えていただきたいと思っている。
- ・ 細かい土地も含め積み重ねていくことを検討していきたいと考えている。
- ・ 地域経済連携会議などでも住宅について議論を重ねており1番の課題と言われている。
- ・ 若い人が住む場所が無ければ各企業の雇用が守れない部分もある。
- ・ アパートはあるが家賃が高額であったり、倶知安町の平均的な30歳くらいの年収で借りられる金額も4500万円前後が限度であり、50年ローンで毎月10万円となれば現実的に家を建てるのも難しい。
- ・ 全て行政に頼むのではなく、プロジェクトのような検討する場を金融機関や官民含め組み立てていき積み上げていくことが必要だと思う。現状どうなっているのか、どのくらいの予算があるのか、共通の認識をしながらできたらよいと思う。
- ・ その通り。住宅不足というのはこの街の重要な課題であり、雇用対策だと思っている。町営住宅は公営住宅法に基づいているので基本は福祉政策だが、雇用政策だと捉えているので、その捉え方、位置づけの中で住宅政策を考えていくべきだと思っている。
- ・ 金融機関にも参入していただきそういった場を作っていきたいと思う。
- ・ 限られた予算の中で建物を建てるのが難しいのであれば、道営住宅等既存の建物を建て替える等をおこない移管するのもよいのでは。利用できるものはできるだけ利用していただきたいと思っているが。
- ・ 移管といっても無料ではないため、購入しなければならず、費用がかかる。さらには引き受けた場合はすぐに大規模改修をしなければならず、コスト的に倶知安町の負担が厳しい。
- ・ 町営については大規模改修が終わっているが北海道は進んでいないので取得となれば道営と町営に差ができ、住んでる方々に違和感がでてしまう。
- ・ 今後将来的に道営住宅を建てていただきたいという要望については長い目で見た際に40～50年抱えることにもなるので人口推移やアパートの個数、住居数を整理し要望していかなければならないと考えている。

内 容

- ・アイデアはみんな持っていると思うので、プロジェクトを立ち上げ、学識経験者などを含め意見を聞いたり、法的な問題があるので説明をする場があればよいと思う。
- ・目先だけではなく将来を描けなければ税金を浪費してしまうことにもなりかねない。
- ・西3丁目南通の資料について北電の送電線は電柱と違いすぐには動かすのは難しいが、具体的にはいつ頃決定するものなのか。
- ・例として交差点を直角に改良した場合こうなるだろうというレベルのもの。高圧線の鉄塔を動かすのは難しいものだとは思っており、まだ未定である。
- ・技術的に鉄塔を動かすことはできるが、すぐに動かすことはできないので1～3年ほど検討期間を設けていただければ。
- ・もしこの案で行くこととなれば十分に時間を設け相談したいと思っている。
- ・一昨年重要水道ということで比羅夫エリアの排水管や配水池にお金をかけているが、そのエリアは住まない人が多い。リゾート地で恩恵を受けているのは実感しているが、まちなかとの格差を広げ、水道料として取ることができれば住民に還元ができ倶知安町の住民がずっと住むための財源となるのでは。
- ・住宅政策もそうだが、介護の人数が減れば札幌や小樽、伊達などに住民が流れていってしまい若者は住まない、高齢者は住めない町になってしまう。本来観光とはお金とものを回し住民に還元していい町を作るのが大きな理由であるため、様々な障害はあるが、観光で来た人、楽しむ人から適正にとれるものは取っていいと思っている。
- ・新たな財源の確保については、町や役場内で意見を詰め検討はしてきたが、昨年宿泊税の見直しに向けた協議が集中的に行われていたため一時中断していた。ある程度宿泊税についての協議の目途が立ったため今年度は新たな財源の確保に向けた検討を再開していきたいと考えている。
- ・以前までは比羅夫エリアの水道料金と市街地の水道料金が別だったが、現在は国の方針で廃止となっており地域差を設けることはできないこととなっている。
- ・現状比羅夫エリアの水道工事の費用が目立っており、なぜ町民が比羅夫エリアの水道工事費用を担わなければならないのかという意見もあるとは思いますが、その工事が終われば次は高砂の浄水場の工事も始まるので費用が目立つことになってしまう。そうなれば今度はヒラフエリアの住民から同じような指摘を受けることとなると思うが1つの町としてやっていかざるを得ないと思う。
- ・水道料金についていつとは言えないが料金改定に向け来年度あたりから検討をおこないたく、今年度からは基礎資料作りをおこないたいと考えている。
- ・住宅に関しては具体化しなければ、待ったなしの状態になってきていると思っているので今後とも協力をお願いしたい。

以上、11：25分閉会

工業振興委員会 報告書

日 時	令和7年12月22日(月) 10:00~10:25	
場 所	倶知安町中小企業センター ホール	
出席者	委 員	瀬尾委員長・渡邊副委員長・内山委員・佐藤委員・堀井委員
	役 員	加藤副会頭(担当)・本間監事
	職 員	小山内記専・下岡業務係
概 況	事務局から開会し委員長の挨拶の後、事務局より令和7年度事業報告、令和8年度事業計画(案)の説明があり協議に入った。	
内 容	<p>1・令和8年度事業計画の策定について</p> <p>(1)人手不足解消による求人情報の発信 (2)大手工事事業者への地元発注機会の拡大の要請 (3)町内インフラ整備に係る意見交換の実施 (4)住宅関連事業者の情報発信事業 (5)抜本的な住宅施策の検討と提言 (6)旭ヶ丘公園再設備(クトサン川河川敷を含む)に係る検討</p> <p>以上、6つの事業を令和8年度も継続して行う。</p> <p>備考</p> <p>(1) 今はどこも人手不足の為、このまま継続する必要があるか協議。 次年度も継続して行うが、名称を「人手不足解消による企業間マッチングプランの実施」から「人手不足解消による求人情報の発信」に変更。 (3) 工業委員会単独の町との意見交換会を昨年同様に4月中に開催する予定。 (5) 定住に対しての助成金を強化する必要がある。</p>	